

「マシュマロチャレンジ」のやり方

—ゲーム型チームビルディング

マシュマロ・チャレンジは乾麺のパスタ、テープ、ひも、マシュマロを使って自立可能なタワーを立て、最も高いタワーを作ったチームの優勝となるゲームです。

【人数】6～50名（1チーム 4-6名）

【場所】屋内

【予算】500円程度

【準備するもの】

- ・乾燥パスタ：20本
- ・マスキングテープ：90cm
- ・ひも：90cm
- ・マシュマロ：1つ
- ・はさみ：1つ
- ・時間を計測するもの：全体で1つ

【期待できる効果】

問題解決力、コミュニケーション、発想力など



【手順】

1) ルール説明（約10分）

事前に各チームにマシュマロやパスタといった備品を配布します。ルールは以下の通りです。

- ・4人1チーム。
- ・自立可能で出来るだけ高いタワーを立てること。
- ・テープで足場を固定してはいけません。
- ・タワーの上にマシュマロを置くこと。（パスタに刺してもOK）
- ・パスタやテープ、ひもは切ったり、貼ったりするのはOKです。
- ・マシュマロは切ってはいけません。
- ・プレイ時間は18分間（作戦タイムも含む）
- ・計測の最中もタワーが立っていなければならない。

2) ゲーム実施（18分）

マシュマロチャレンジは、作戦や建築を含めて1チーム4名で18分間での実施というルールが決められています。

与えられた備品を使い、チームで相談し、試行錯誤しながら塔を立てます。

パスタで塔を立てるなんて初めての経験で、どういう構造が強度が高いのか、パスタはどのぐらいの負荷で折れてしまうのか、マシュマロの重さに耐えられるか等、全てが試行錯誤の連続です。

終了時間が迫ってくると、途中で作った塔が倒れてしまったチームの悲鳴が聞こえてきます。

3) 計測タイム・結果発表 (約 10 分) —————

計測にうつります。計測は不正がないよう、隣のチームの塔の高さを計測します。チームによっては、終盤で倒れてしまい、記録が出ないチームもあるかもしれません。

全チームの計測が完了したら、成績発表を行います。

(上位チームだけ発表するのでも構いません)

4) 振り返り (約 10 分) —————

振り返りシートを使って、ゲームの振り返りを行います。なぜ自分たちがこの順位になったのか、どうすればより良い結果を出す事ができたのか、個人・チームで話し合います。

マシュマロチャレンジでは、子供のチームの方が大人たちのチームより平均成績がいいというデータがあります。

5) 再チャレンジ (約 20~40 分) —————

通常、2) から4) を2回~3回繰り返し実施します。

振り返りで学んだ事をすぐに実践にいかすことで、高速で PDCA を回す体験ができるので、ほとんどのチームは回数を重ねるごとに高い塔を作る事ができ、楽しみながらチームワークを高める事ができます。

6) 最後のまとめ (約 5 分) —————

最後に、研修を通して学んだ事を個人・チームで振り返って、研修は終了となります。

みなさんの会社でも、ぜひマシュマロチャレンジを取り入れてチームビルディングをしてみてください。

【ワンポイントアドバイス!】

▷コツはたくさん失敗すること!

大人たちは、準備や計画に時間をかけて、最後の数分で塔を建ててマシュマロの上に置こうとしますが、たいていの場合塔はマシュマロの重みに耐えられず倒れてしまい記録が出ません。

それに比べて子供達は最初にマシュマロを手に取り、18分間かけて試行錯誤を繰り返しながら塔を作るので、塔がたつのです。

そういった振り返りを通して、試作品を作ることや、PDCAの重要性を学びます。